

2018年6月5日

報道関係各位

公益社団法人 日本脳卒中協会
サノフィ株式会社

脳卒中克服の推進活動への貢献を称える 平成30年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者決定 ～「啓発部門」で1団体、「社会参加支援部門」で1団体を表彰～

公益社団法人 日本脳卒中協会(所在地:大阪市阿倍野区、理事長:峰松一夫、以下「日本脳卒中協会」と)とサノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジャック・ナトン、以下「サノフィ」)は、本年6月2日(土)、梅田スカイビル(大阪府大阪市北区)で開催された同協会社員総会において、平成30年度日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者の発表と表彰式を行いました。

日本脳卒中協会「サノフィ賞」は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動を促進するための活動に貢献した個人あるいは団体を選定し顕彰することを目的に、平成22年(2010年)に創設されました。平成30年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」の受賞者は、以下の2団体です。受賞者には賞状と盾、副賞として賞金(各25万円)が贈呈されました。

- 啓発部門 高知 stroke nursing therapist 様
- 社会参加支援部門 特定非営利活動法人(NPO法人) 脳外傷友の会 高志 様

高知 **stroke nursing therapist** は、高知県の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師(2ページ 表註参照)全員がオール高知としてチームを組み、脳卒中に関する知識の普及と早期発見・早期治療を受けられるための情報提供を実施し脳卒中リハビリテーション看護師を中心とした脳卒中啓発活動のモデルとなるような活動であることが評価されました。

NPO 法人脳外傷友の会高志は、高次脳機能障害者の方々の相談事業、講習会などの啓発活動を行い、富山県内の支援体制づくりに貢献されており、数少ない高次脳機能障害者を対象とした団体であることと、患者・家族に対する社会との共生を視野に入れた活動が評価されました。



6月2日 日本脳卒中協会「サノフィ賞」表彰式にて
(前列左から)

日本脳卒中協会 理事長 峰松 一夫

NPO 法人 脳外傷友の会高志 山 加代子 様

NPO 法人 脳外傷友の会高志 大野 美絵 様

高知 Stroke nursing therapist 谷本 早苗 様

高知 Stroke nursing therapist 久保 光恵 様

高知 Stroke nursing therapist 山崎 皓太 様

サノフィ株式会社 ジェネラルメディクスビジネスユニット
営業本部長 宮越 和彦

平成 30 年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者および受賞理由

部門	受賞団体	受賞理由
啓発部門	高知 stroke nursing therapist (コウチ ストローク ナーシング セラピスト)	<p>高知 stroke nursing therapist は、高知県の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師*全員がオール高知としてチームを組み、高知県内の施設や会合を回り、脳卒中に関する知識の普及と早期発見・早期治療を受けられるための情報提供を実施してこられました。</p> <p>審査委員会では、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師による全県レベルの活発な活動であり、各都道府県における脳卒中リハビリテーション看護認定看護師を中心とした脳卒中啓発活動のモデルとなるような活動であることが評価されました。</p> <p>*認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師。</p>
社会参加支援部門	特定非営利活動(NPO)法人 脳外傷友の会 高志 (ノウガイショウ トモノカイ コジ)	<p>NPO 法人脳外傷友の会高志は、高次脳機能障害者の方々の相談事業、講習会などの啓発活動を行い、富山県内の支援体制づくりに貢献してこられました。加えて、ピアカウンセリング事業や家族の居場所作りとしての“フリースペースねじまき舎”の提供と運営など、当事者・家族の支援を行っておられます。</p> <p>審査委員会では、数少ない高次脳機能障害者を対象とした団体であること、患者・家族に対する相談事業、講習会に加え、家族も含めた居場所の提供と運営など、社会との共生を視野に入れて活動されていることが評価されました。</p>

日本脳卒中協会は、これまでに脳卒中撲滅のため、脳卒中予防に関する正しい知識の普及や最適な治療を受けられるための情報提供、患者さんやご家族の脳卒中に関する理解向上と QOL 改善のため、幅広く活動を行っています。

日本脳卒中協会ならびにサノフィは、日本脳卒中協会「サノフィ賞」を通じて脳卒中克服へ向けた取り組みを顕彰することで、再発を防いで社会復帰を促進することを願い、今後もさらに脳卒中撲滅に貢献するため、ともに努力を続けてまいります。

以上

公益社団法人 日本脳卒中協会について

脳卒中に関する正しい知識の普及および社会啓発による予防の推進ならびに脳卒中患者の自立と社会参加の促進を図り、国民の保健、福祉の向上に寄与することを目的とし、平成 9 年 3 月に任意団体として設立され、平成 17 年 3 月に社団法人として認可後、平成 24 年 10 月 1 日に公益社団法人に移行しました。平成 30 年 6 月現在、46 都道府県に 48 の支部があり、脳卒中を発症した患者さんやご家族を始め、医療従事者、行政・福祉関係者、一般の方々への情報提供や調査研究活動などを行っています。日本脳卒中協会に関する詳細は、ホームページ(<http://jsa-web.org>)をご参照ください。

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医科学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「**Empowering Life**」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。